

## 沖縄の地で・・・“Don' t think Feel !”

校長 川崎 芳 徳

皆さん、いよいよ修学旅行です！前期課程最大の学校行事がやってきました。遠く直線距離でも1,200 km離れた地へ、芦国で出会い、深い“ご縁”で結ばれた友と“一つ屋根の下、同じ釜の飯を食う”貴重な機会です。友との関係は生涯の財産です。沖縄の地で、しっかり語り合ってください。互いに、知ってるつもりだった新たな素晴らしい一面を、是非発見してください。

日常と大きく異なる生活環境に身を置き、違う空気を吸い、ニオイを嗅ぎ、自然や文化等々に親しむことにより見聞を広め、自らの眠れる細胞を“スイッチON”！・・・そして個々人が、それぞれの中で、“何か”を変え、これから大きく躍進する“きっかけ”にしてください。

もう一点・・・人類にとって、最も愚かな行為・・・武力による命の奪い合い・・・『戦争』。かつて、日本も戦争を行った歴史をもちます。とりわけ、第二次世界大戦で、国内唯一の地上戦が繰り広げられたのが沖縄の地であり、その悲惨さは、戦後78年を迎えた今でも、様々な機会を捉えて語り継がれています。

終戦を迎えたのは、1945年8月15日・・・ですが、沖縄が日本へ返還されたのは、1972年5月15日であり、戦後、27年間に及ぶアメリカによる統治が続き、通貨はドル、給料も貯金もドル、車は右側通行という状況でした。そして現在も、基地問題で揺れ動いているのです。

なぜ人は戦争をするのか・・・誰もが思う中、2023年を迎えた今なお、戦争を行っている国があるという現実。このような、変化激しく予測困難なグローバル社会を生きる中、沖縄の地で、皆さんの五感を通して“平和”の大切さ、“命”の尊さを、強く実感していただきたいと切に願っています。

この修学旅行を通して、一人一人の成長に加え、19期生の結束力をさらに強固で確かなものとしていただけることを大いに期待しています。

Let' s enjoy !